

CLUB NEWS

2021-2022年度 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリーテーマ



vol.
1269

2020・2021
MEETING

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■ 会長 長橋 正人	■ 職業奉仕 今野久仁正	■ 副幹事 佐竹 猛
■ 会長エレクト 石山 徳昭	■ 社会奉仕 諏方 均	■ 会計 阿部 美春
■ 副会長 玉ノ井憲史	■ 青少年奉仕 鹿野 淳一	■ S A A 柴田 修英
■ 直前会長 小林 敏郎	■ 国際奉仕 奥山 宏	■ 国際ロータリー会長 シェカール・メータ(インド)
■ クラブ管理運営 相川 博昭	■ 幹事 佐藤 太	■ 第2800地区ガバナー 矢口 信哉(東 根)
		■ 第5ブロックガバナー補佐 結城 和生(山形 西)



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

◆日時/2021.10.12 12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/国歌・奉仕の理想

会長挨拶



皆さん、こんにちは。最初に本日のゲストをご紹介致します。改めてご紹介させていただきます。山形市副市長の井上貴至(たかし)様です。井上様にはご多忙の中お越し頂き、後程卓話を頂戴致します。本日は宜しく

お願い致します。

さて、10月2日に行われました変更例会「被爆ピアノ平和コンサート」につきましては、早朝からお手伝い下さったメンバー、そしてコンサートにお越し頂いた皆さん、有難うございました。会場が山形テルサに移ったこともあり、準備が昨年よりスムーズだったのではないかと思います。実行委員会の菅野様、そして矢川様より中央ロータリーの皆様にくれぐれも宜しくお伝え下さいとのお礼のメッセージを頂きました。本当に有難うございました。

また、翌3日に開催されました山形市内フクラブ親睦ゴルフコンペは天候にも恵まれ、楽しい時間を過ごすことが出来たと思います。団体戦は4位、個

人賞では本間さんが8位入賞、佐藤登美子さんがレディース賞に輝いた他、鹿野さん、中川さん、佐藤登美子さんが見事ニアピン賞、ドラコン賞を獲得なさいました。おめでとうございます。

私につきましては皆さん成績表でご存じのことと思いますので割愛させていただきます。

ところで、各メディアで報じられております通り、ここ最近の新型コロナ感染者は全国的に減少傾向にあり、県内に限ってもゼロか1桁前半で推移しております。これを受け県でも警戒レベルを引き下げ会合や会食の際の条件を緩和することとなった様です。勿論予想される第6波に対しての備えは必要ですが、中央ロータリーと致しましては感染対策に留意しつつ年次計画に則って順次事業を進めて参りたいと思います。また、延期になっている各委員会の例会等も無理のない範囲で開催して頂ければと存じます。会員の皆様のご協力をお願い致します。

甚だ簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い致します。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	38名	—	25名	—
修正出席				
他クラブでメイクアップされた会員				



ゲスト卓話

1人の100歩より、 100人の1歩

山形市副市長 井上貴至氏

私は地方が大好きです。地方を活性化するために、できることはいっぱいあるのではないかと、中高生の頃から考えていました。そもそも日本は、ヨーロッパに置くと、北欧から北アフリカまで達するほど南北に長い国で、山一つ越えると、歴史、文化、食、景観、気候、祭りなどが異なるとても多様な国です。日本本来の多様性を取り戻し、地方を活性化させるには、東京一極集中から抜け出す必要があります。

総務省に入省して1年目に愛知県に派遣されましたが、1年間という短い任期で、60の市町村を歩き尽くしました。奇祭と呼ばれるものを含め各地のお祭りに積極的に参加し、地元の人と交流を重ねることで、よそでは知られていない祭りがたくさんある、地域には隠れた魅力がいっぱいあることを学びました。

10年前の東日本大震災では、毎週末友人たちと被災地の石巻市雄勝に通いました。雄勝は日本一の硯石の産地ですが、石を削る高価な機械が流され、職人たちも廃業を考えていました。

何とかしたいと思っていたとき、柔道を通じお世話になっている郵便局の幹部に声を掛けられました。「郵便局で寄付をしたいのだが、どこがいいかな」「雄勝の硯石はどうか。郵便局による文（ふみ）の文化の復興です」

2011年5月に3000万円の寄付をいただき、今も職人たちは住み慣れた場所で、好きな仕事に取り組んでいます。

その後、雄勝のスレートはJR東京駅の復元にも

使われました。文翔館の屋根も雄勝のスレートです。市役所から文翔館を眺めながら、当時のことや行政官としての原点を思い出しました。

また、価値観も変わりました。「明日死ぬかもしれない。今日を全力で生きよう。」という気持ちが強くなり、本業の傍ら、全国を旅して、出会った人と事例を繋げながら新しい花を咲かせる「地域のみつばち」活動にも邁進するようになりました。

7年前、地方創生が国の主要な政策になりました。毎週末私費で全国を訪ね歩いている変な公務員がいるということで、政務官に呼ばれて、視察先のアテンドや様々な政策を提言するようになりました。

「小さな市町村も頑張っている人がたくさんいますが、中と外をつなぐパスを出す人材が少なく、ドリブルが活きていません。小さな市町村にこそ国等の人材を派遣しましょう。」

こうして地方創生人材支援制度が生まれ、2015年に第一号として、私自身も鹿児島県長島町に派遣されました。

長島町は、世界一のブリ養殖の町ですが、高校や大学がなく、人口減少が続いていました。漁船に揺られながら、「隣の高校にバスで通わせているが、バス代だけで1人当たり月3万円かかって大変だ。」というお話を伺って、考えたのが「ぶり奨学金」です。出世魚で回遊魚のブリにちなみ、成長して戻ってきてという願いを込めて、地元に戻れば返済を全て補填する奨学金をつくることにしました。原資は住民・事業者の寄付やふるさと納税でまかな

い、貸し借りの手続きや将来の基金の予測については地元の信用金庫にご協力いただきました。

また、長島町の公共交通はバスが1日数便あるだけで、高齢者が外出するには多くの苦勞が伴います。一方、若い町民は自家用車で移動することがほとんどで、空いている席に無償で高齢者を乗せることは十分可能です。そこで、「車に乗せてください」という共通のサインとして、「ちえぬーで(長島町の方言で一緒に行こうよという意味)」手ぬぐいをつくり、高齢者が気軽にヒッチハイクできる仕組みを考えました。

常に意識していたのが、私の任期が終わった後も継続し、みんなで助け合う「共助」の仕組みをつくるということでした。

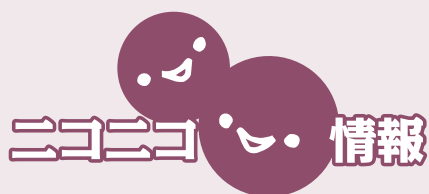
今年7月から山形市副市長に就任いたしました。山形市の都市機能を充実させることが日本を元気にすることにつながると考えています。山形から

そのエネルギーをつくっていきたいです。

現在検討しているのは、山形市内で消費されるガソリンや暖房などのエネルギー消費額のうち、数%でも地域で循環させる仕組みがつかれないかというものです。山形市は、ガソリン代や冬の暖房費など、エネルギーへの消費額が高く、それが外へ出ていってしまうのがもったいないです。

そこで、市役所では公共交通の利用を促進するため、10月からノーマイカー通勤の実証事業を始めました。また、住宅施策として、断熱性や気密性を高めることでエネルギー負担額を減らし、ヒートショックの防止にもつながる「やまがた健康住宅」を広めていきたいです。

皆様の声を踏まえて、より良い制度をつくっていきたくて考えていますので、ご協力をお願いいたします。



高橋恭治・相川博昭／井上副市長殿、本日は卓話ありがとうございました。今後のご活躍を祈念申し上げます。



鈴木陽子／10月5日みちのく霞城まつりにたくさんのご参加いただきありがとうございました。コロナ禍での開催でしたが、対策の中お楽しみいただく事ができました。

長橋正人・佐藤太／井上副市長様の御来訪、卓話に感謝申し上げます。お忙しい処、本当に有難うございました。

10月 会員誕生・創立企業日

誕生日 相川博昭

企業創立記念日

高田恭伸 三井住友海上火災保険(株)

鹿間慶彦 (株)モーターレンヤマガタ